

GO AHEAD!

我孫子市立湖北小学校
第6学年・学年便り
2017. 9月号

☆2学期が始まりました☆

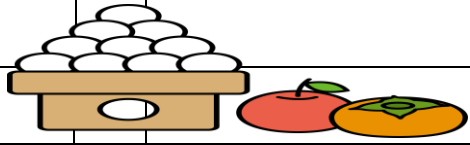
長い夏休みが明けて、蝉の声が響いていた校舎にも、子ども達の声がかえってきました。いよいよ2学期が始まります。

さて、2学期には修学旅行を始め、音楽発表会、陸上競技大会、綱引き大会、持久走大会、都内見学などの多くの行事があります。子ども達が活躍する場面が多くあります。中学校に向けて、一人一人の力を更に付けていきたいと思ひます。

9月は早速修学旅行があります。この修学旅行のために、実行委員や各係で準備を進めていきます。小学校生活最高の思い出に残る旅行にしたいと思ひているので、事前準備をきちんと行い、一人一人がより輝けるようにしたいと思ひます。

2学期も担任一同努力していきます。保護者の皆さまのご協力をお願いします。

9月の行事予定

1日	金	始業式 11:30 下校 登校指導	18日	月	(祝) 敬老の日
4日	月	給食開始 地区別集団下校	19日	火	振り替え休業
5日	火	夏休み作品展 (~8日まで) 発育測定	20日	水	沼っ子タイム
			27日	水	沼っ子タイム
6日	水	木曜日課	28日	木	集金日
7日	木	水曜日課 委員会活動 避難訓練	29日	金	校内研修のため5時間日課
8日	金	代表委員会			
13日	水	クラブ活動⑤			
15日	金	修学旅行1日目	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> 今月の集金は、1000円です。 詳しくは裏面を参照してください。 </div>		
16日	土	修学旅行2日目 市内科学作品展 (アビスタ) ~ 17日			

9月の生活目標

◎生活のリズムを取りもどそう。

○清掃用具を上手に使おう。

- ・時間を守る、挨拶をするなども含め、生活全体のリズムを取り戻します。
- ・掃除の仕方をもう一度確認します。

学習予定

<国語> 随筆を書こう 熟語の意味	<算数> 比と比の値 拡大図と縮図	<社会> 江戸幕府と政治の安定 町人の文化と新しい学問	<理科> 月と太陽
<体育> 高跳び・ハードル	<音楽> 和音の美しさを味わおう	<図工> 県展への取り組み	<家庭科> 生活を楽しくしよう ソーイング
<総合学習> 日光について調べよう			

お知らせとお願い

○修学旅行について

持ち物や詳しい日程については、後日配布するしおりの方でご確認ください。また、9月9日(土)から6日間「個人健康チェック」を毎日行うよう、宜しくお願ひ致します。

○夏休み作品展について

今年度は、夏休み作品展が9月5日(火)から9月8日(金)までの4日間になっております。場所は、4階の高学年プレイルームです。(15:30~16:30)

○持ち物について

2学期が始まり、授業も始まります。教科書やノート、筆記用具、絵具など、必要な用具の確認と記名を宜しくお願ひします。

○家庭科作品(トートバッグ)について

家庭科作品(トートバッグ)の申し込みの袋を配付予定です。ご希望のものを決めて頂き、袋に必要事項を記入し、お金を入れて9月22日(金)までに提出を宜しくお願ひします。

○連絡メールの登録をお願いいたします。(修学旅行の連絡などでも使います。)

2学期の集金について

ワークテスト（算数・社会・理科+国語）	330 × 3 + 280 = 1,270円
漢字ドリル	340円
計算ドリル	340円
夏ドリル	390円
紙ねん土	108円
県展枠	40円
図工（人の芯材）	280円
てこのはたらき	210円
書き初め手本、用紙	250円
合計	3,228円

2学期の集金 円を3回に分けて、集金します。

9月 1000円 10月 1000円 11月 1228円

9月の集金は1000円となります。よろしくお願ひします。

親子のコミュニケーションを大切にしよう

人は、生まれてからいろいろな人と接することでコミュニケーションの力を付けていきます。思春期の子もだからこそ、親と子の間で意識して会話をする必要があります。

普通のやりとりをちょっと工夫してみませんか？

○こんなところを意識して

*言葉と表情は合っていますか？

「目は口ほどにものを言う」ということわざがあります。言葉を発した時、それにふさわしい表情をするよう心がけることで、親としての考えや気持ちがはっきり伝わります。

*「言わなくてもこのくらいはわかってくれるだろう」と思っていますか？

言わなくても分かり合える関係は何もしなくてできるものではありません。言葉にしないと伝わらない時もあります。日常のあいさつや他愛のない会話を大切にしてください。

○子どものメッセージを受け止める

*態度と言葉が合わない表現はありませんか？

時と場にとくわぬ発言や行動に出会ったら、「何か言いたいことがあるのかな？」とちょっと気をつけてみましょう。大丈夫といいながら声が沈んでいることもあります。言葉でうまく言えない時には、体の不調等で訴えることもあります。

*正面から受け止めていますか？

親として気になる言動があったら、「自分がどんなふう感じているか」を伝える事が大切です。思春期はとかく理屈っぽくなりがち

参考：栃木県教育委員会より

です。そんなとき真剣に受け止めて、大人としての意見を言ってみましょう。そのことが、親にとって子どもがかけがえのない存在であることを伝えることにもなります。また、真剣に話し合えたら、話し合えたことについての親としての感想（例：「すいぶん深く考えているのに感心した」など）を添えるよいでしょう。

○こんな時は、こんなふうに言ってあげたら？

*ほめる時

大げさにならないように事実をほめることが基本です。子どもの努力や取組の姿勢などを認めて言葉をかけましょう。親としての感想をさり気なく短い言葉で伝えるのがポイントです。

*叱る時

こちら事実を大げさにならないようにすることが大切です。よくない点を簡潔に伝えましょう。その行為がよくないのであって、本人を否定するような言い方（例：「全く何やってるのかしら。」「だから～なんだ」など）にならないように気をつけましょう。

人は失敗しながら成長していくものなので、失敗が次へのステップになることを話してあげられるとよいのではないのでしょうか。



言葉は心の表れ

5、6年生でも平気で「ウザイ」「キモイ」「死ね」という言葉を使っている子がいます。子供達の心が不安定なんですね。とても可哀想です。大人が何とかしてあげなければいけません。言葉にはその人となりが見えるとされています。

相手の手の気持ちを推し量る能力や美しいものとそうでないものを判断する目が育っていないのです。逆に美しい言葉は人を和ませます。児童文学の名作とされている作品はそれはそれは美しい日本語に訳されています。読んでいただけで普段の自分の言葉が取かしくなるほどです。

5、6年生の柔らかい頭と心にたくさん美しいものを見せてあげましょう。5、6年生になると興味がはっきりと現れてくる頃です。ピアノが好きなら演奏会に、絵が好きなら美術館に、お笑いが好きなら演芸場に連れて行ってあげましょう。そして鍛錬を積んだ人の生き様をしっかり見せてあげるのです。

魂がこもったものには人を惹き付ける美しさがある、言葉もしかりだと教えてあげてください。5、6年生ならばその意味を理解し「ウザイ」という言葉を聞いたとき(醜い)と気付くことでしょ。一度気付くともうめったなことではその言葉を使いません。自分が醜くなると分かるから。

「そんな言葉使ったらダメ。」ということは簡単ですがそれでは子供の心に届きません。逆に本当に美しいものを教えてあげることが大切です。心の美しさが表れるような言葉、大人も意識してゆかねばなりませんね。

参考：子育てママ悩み解消！